

米州事業戦略説明会

2022年11月24日



執行役社長 CEO

平野 耕太郎

執行役専務

マイニングビジネスユニット長兼

米州事業部長（日立建機アメリカ Inc.取締役会長）

石井 壮之介

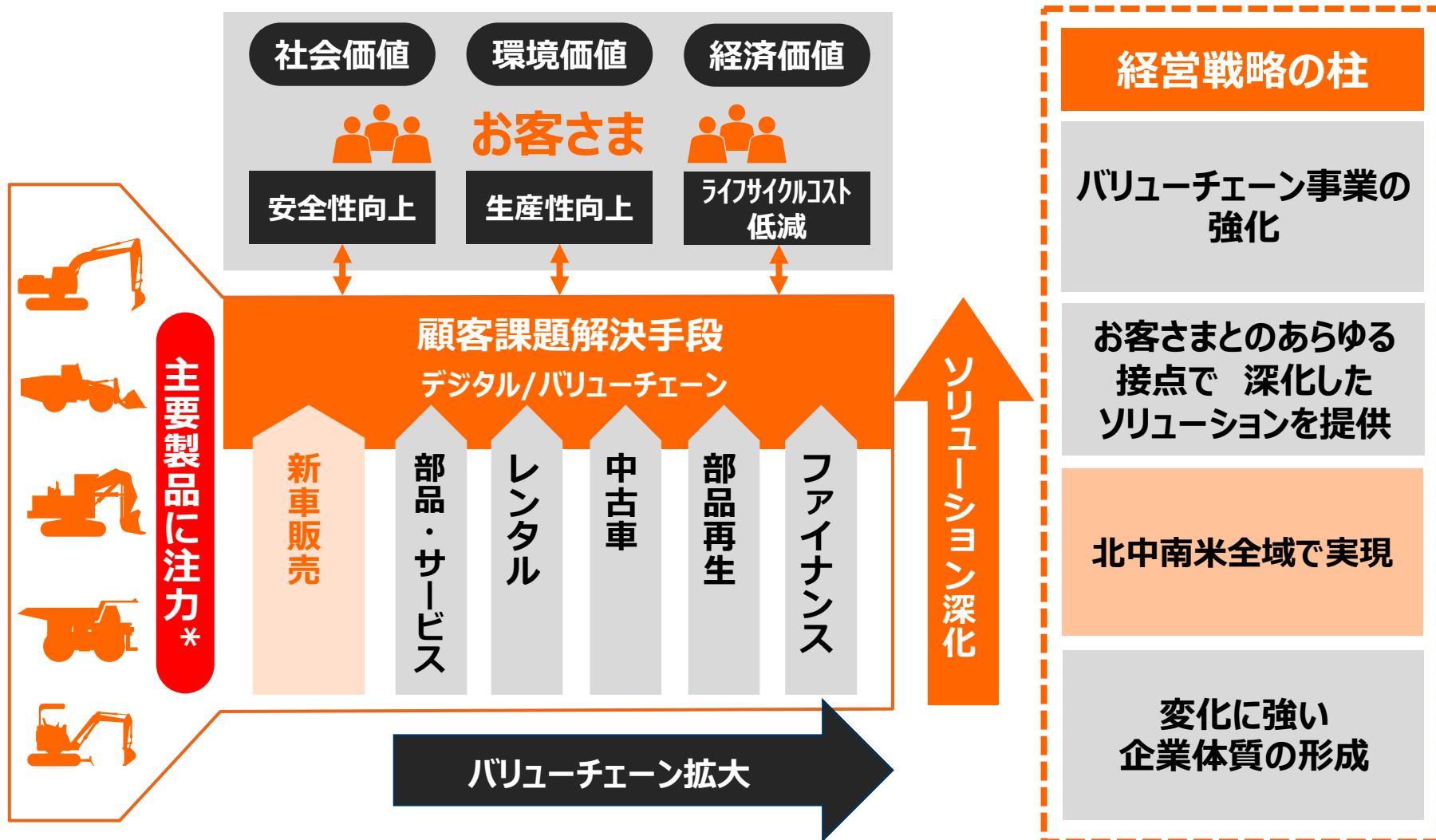
1 米州事業の想定以上の立ち上がりと成長性

2 コンパクト・コンストラクション事業の取り組み

3 マイニング事業の取り組み

1. 米州事業の想定以上の立ち上がりと成長性

北中南米のバリューチェーン事業強化で安定成長を実現



*その他製品群：バックホーローダ、クローラークレーン、ブルドーザ、スキッドステアローダ

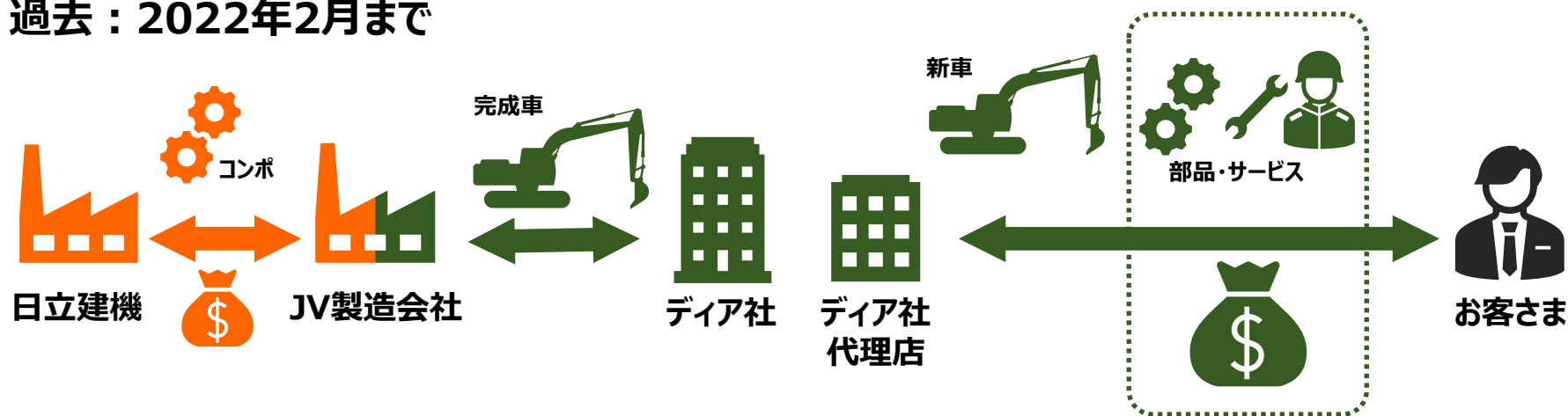
1-2. 過去と現在の商流の変化（新車・部品・サービス）

HITACHI

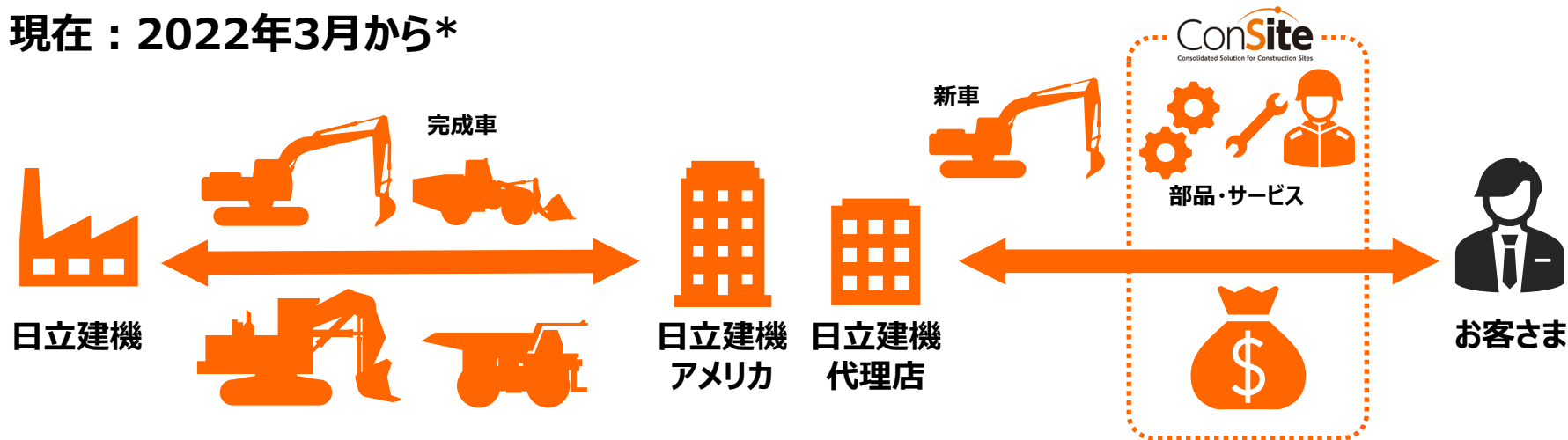
Reliable solutions

販売・サービス権を得て、製品・サービス事業を独自に展開

過去：2022年2月まで



現在：2022年3月から*

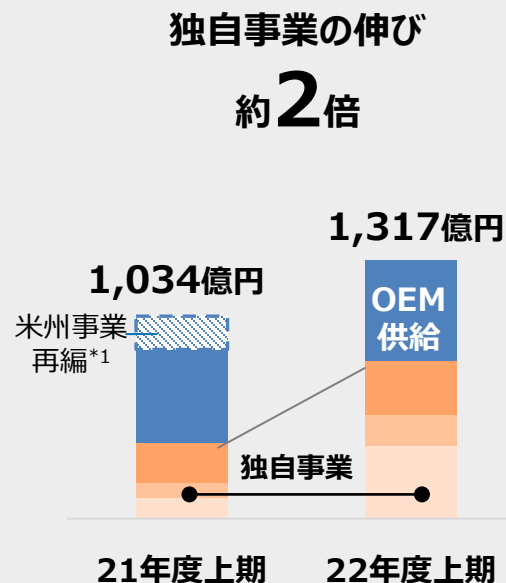


*OEM契約に基づき、ディア社に完成車・コンポーネント・サービス部品を当面の間供給する

1-3. 足元の進捗、中長期的な定量目標

中長期で事業を拡大し 収益の安定化を図る

米州売上収益 足元の進捗

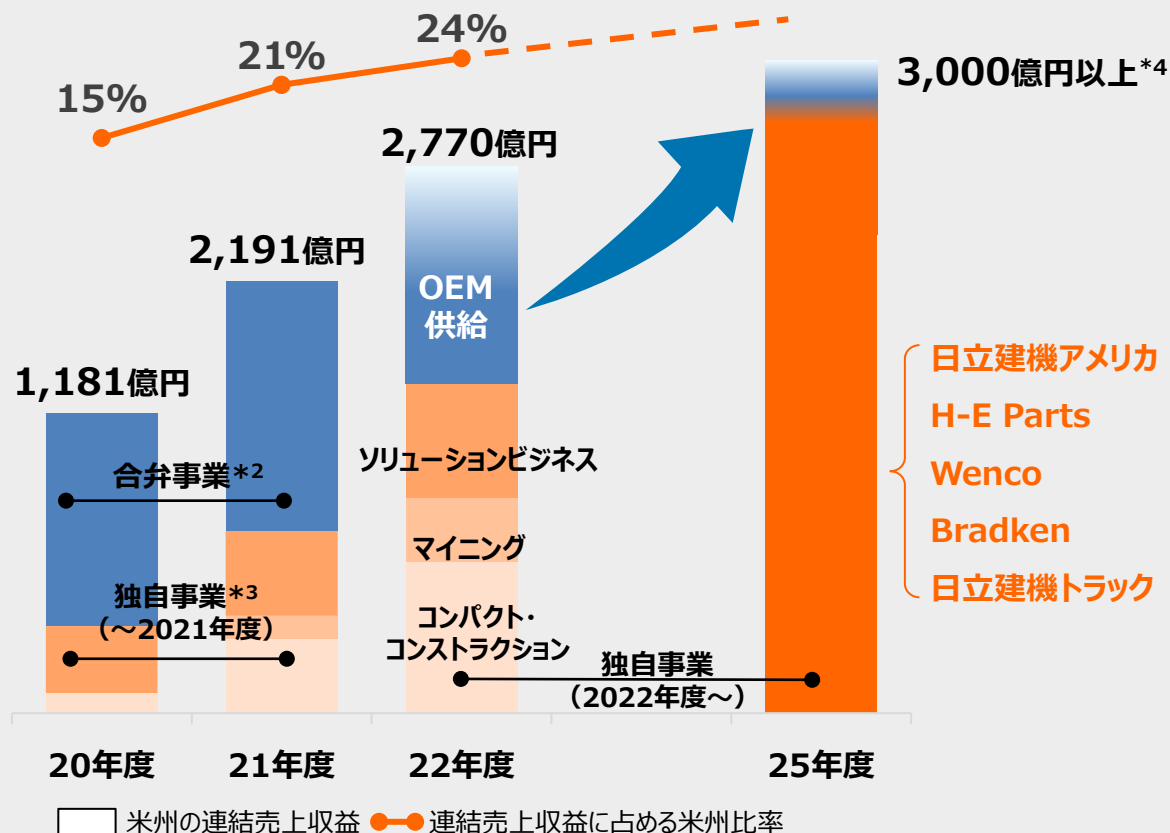


*1: 価格調整金及びプロフィットシェア

*2: 合併事業

コンポーネントと完成車供給、販売・サービスをディア社に委託し、プロフィットシェアを受領

米州売上収益 計画



*3: 独自事業 ～2021年度はホイールローダ事業および連結子会社分のみ

*4: 想定為替レート1ドル＝130円、需要推移は横ばいと仮定

今中計：想定以上に好調な滑り出しで独自展開をスタート

重点施策

販売・サービス・レンタル・
ネットワークの早期構築

最新油圧ショベルの市場投入

ConSiteを活用した
ライフサイクル全体のサポート

重点施策の実績

- ・他地域での実績・良いブランドイメージを背景に早期に代理店ネットワークを構築
- ・広域レンタル会社や代理店を通じたレンタルの拡大
- ・ConSite搭載油圧ショベルの市場投入
- ・プロモーション活動を実施
- ・北米におけるConSite契約率95%以上
- ・部品倉庫2拠点が稼働中

次期中計：新たなパートナー、グループ内の連携で成長を確実に

- サービス、部品再生拠点の検討
- 電動化製品の開発・投入の取り組み
- 製造拠点の最適な場所・時期の見極め

独自展開後の市場調査を踏まえて計画を見直し、
経営施策の効果、新たなパートナーとの連携で初期投資を低減

経営施策の効果

- グローバルの生産拠点再編
- 最先端製品の供給力

市場からの評価

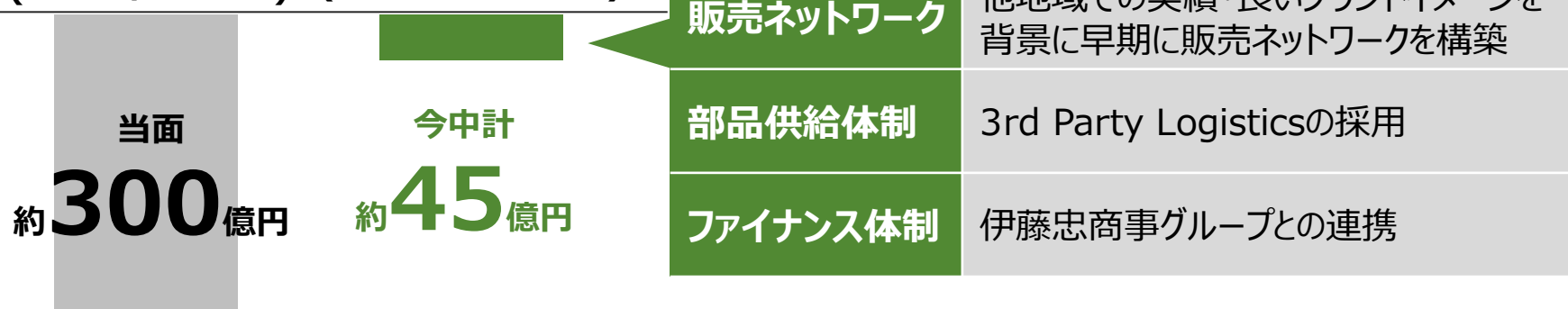
- 想定以上に
市場からの前向きな反応

経営環境

- 株主構成の変化

今中計の投資計画

独自展開前
(2021年8月時点) 独自展開後
(2022年11月時点)



次期中計ではレンタル事業強化、マイニング中核拠点の整備、
日立建機アメリカの拡充を中心に投資計画を精査中

1-6. 地域統括会社 日立建機アメリカの体制強化

HITACHI

Reliable solutions

さまざまな経験・能力を持つ人財が集結、建屋を増築

日米連携で陣頭指揮

日立建機アメリカ



取締役会長 石井 壮之介

日立建機 執行役専務

マイニングビジネスユニット長 兼 米州事業部長



CEO Al Quinn



全製品をカバー・地域統括会社の機能を強化

建屋を増築、2023年12月完成予定



本社内観

JEFFERSON_



ConSiteで建設・鉱山現場の稼働状況を見守るコマンドセンター

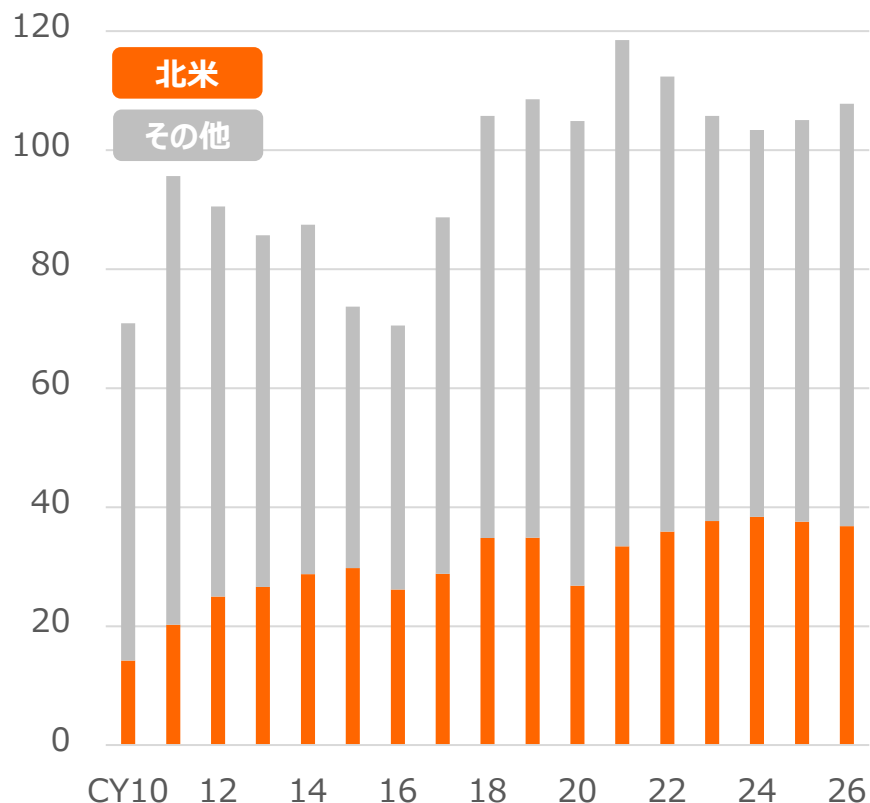
JEFFERSON_

2. コンパクト・コンストラクション事業の取り組み

- ・北米市場は高位安定水準で推移している
- ・高付加価値モデル、サービスが評価される市場

建設機械の世界需要*1

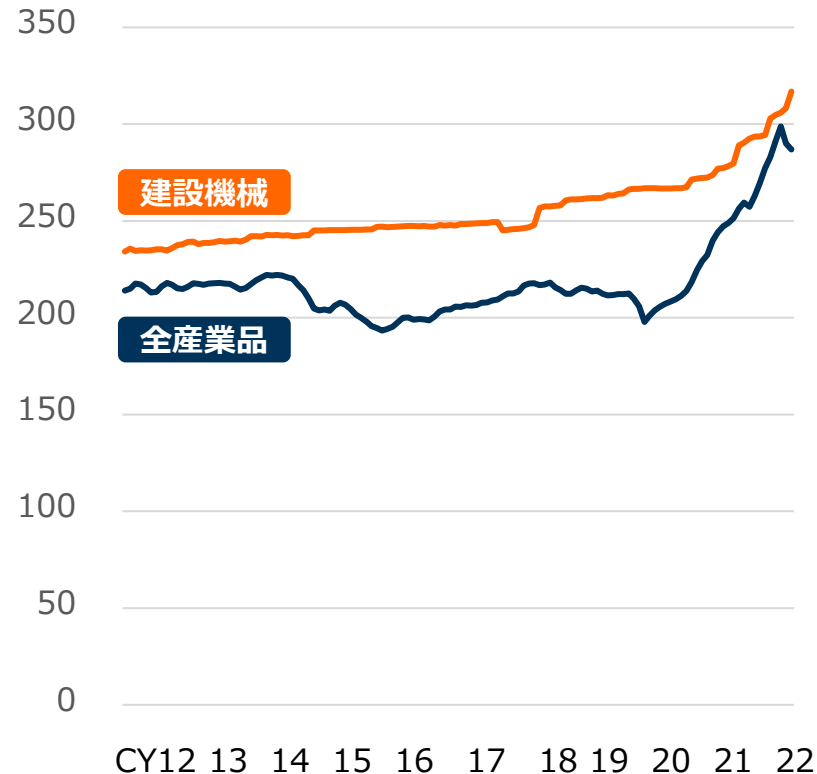
(US billionドル) (金額ベース)



*1 : Off-Highway ResearchのGlobal Volume and Value Service

米国全産業品と建設機械の物価指数推移*2

指数 1980年12月 = 100



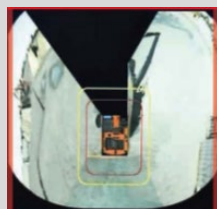
*2 : 米国労働統計局のPPI (生産者物価指数)

魅力のある最新油圧ショベルを北米市場に投入・拡販

安全性の向上

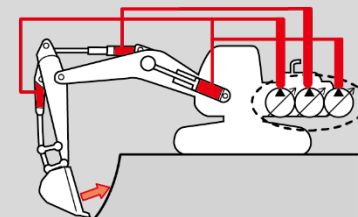
AERIAL ANGLE

機械の周辺をモニター表示
視認性・安全性を向上



生産性の向上

高効率な最新油圧システム
掘削スピードと
動作性能の向上



ライフサイクルコストの低減

ConSite
Consolidated Solution for Construction Sites



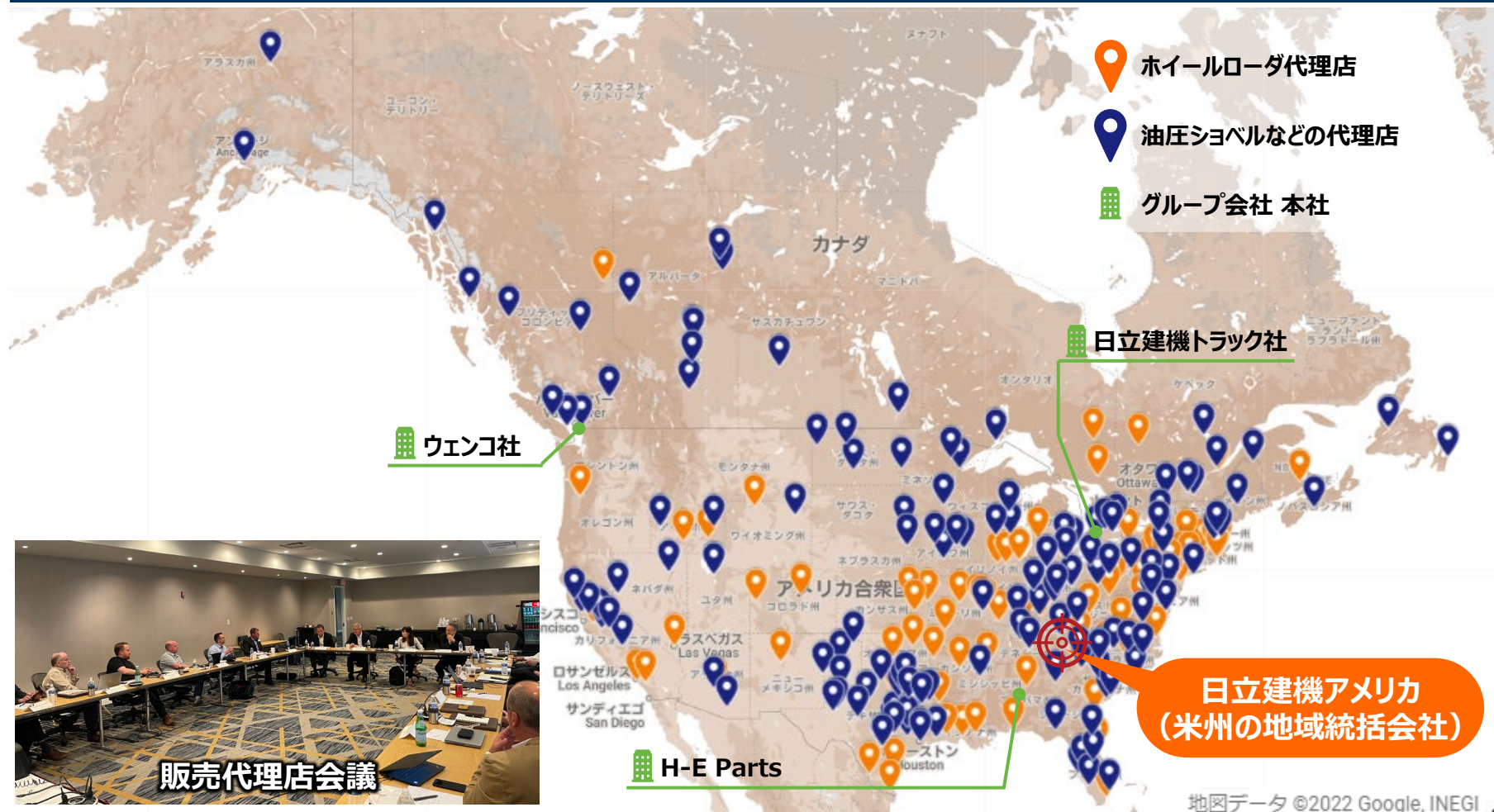
24時間 遠隔モニタリング
ConSite OIL標準搭載

構造物の
強度向上



足回りの強化

日立ブランド代理店、フルラインアップで扱う代理店と優先的に契約



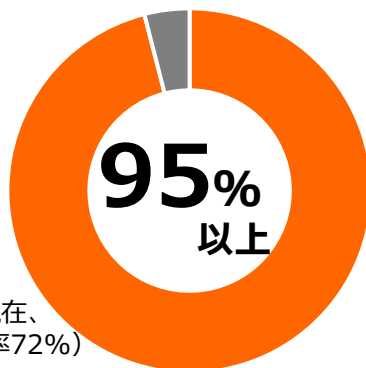
北米市場の約8割をカバーする販売体制を整備

動画をご覧ください。

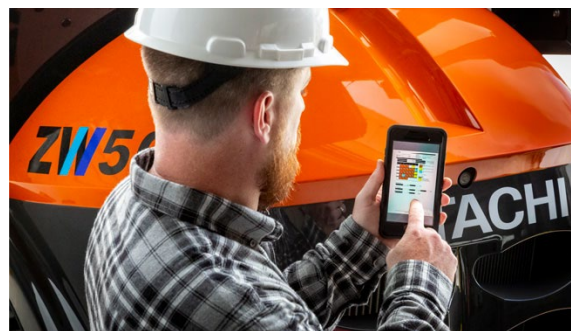


ConSiteを活用して最新のサービスソリューションを提供

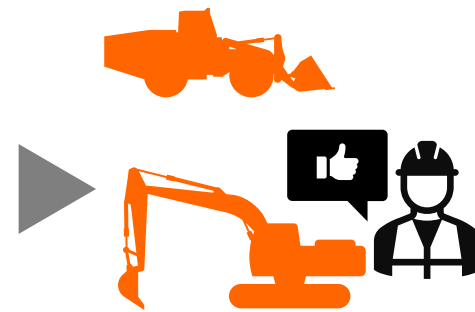
北米におけるConSite 契約率



(2022年3月現在、
全世界の契約率72%)



緊急アラートで対処手順を表示



迅速な現場対応

ジャクソン部品倉庫に続き、2022年10月よりマクドノー部品倉庫を稼働

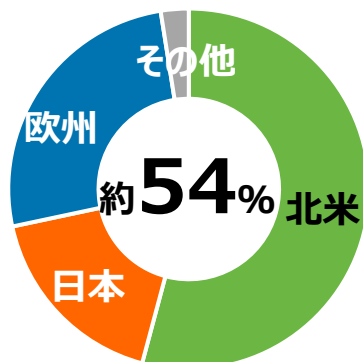
段階的に部品倉庫の拡充を推進

ジョージア州



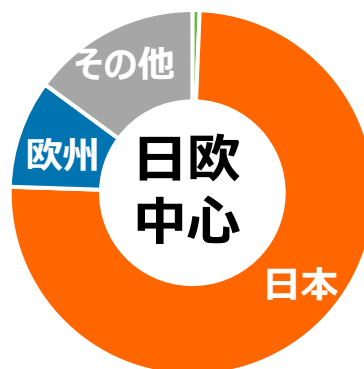
メーカーレンタルの強みを生かして 世界最大の市場である北米でレンタル事業を拡大

レンタル世界市場の北米比率*1



*1:当社推定

日立建機のレンタル事業の北米比率



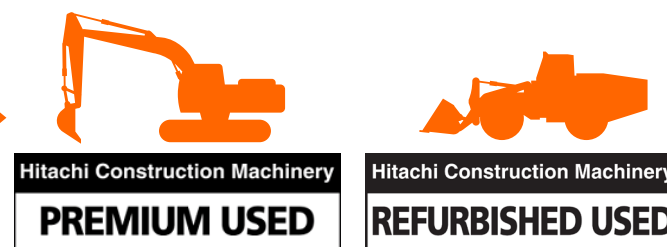
北米の中古車は域内流通が中心



代理店によるレンタル事業を支援

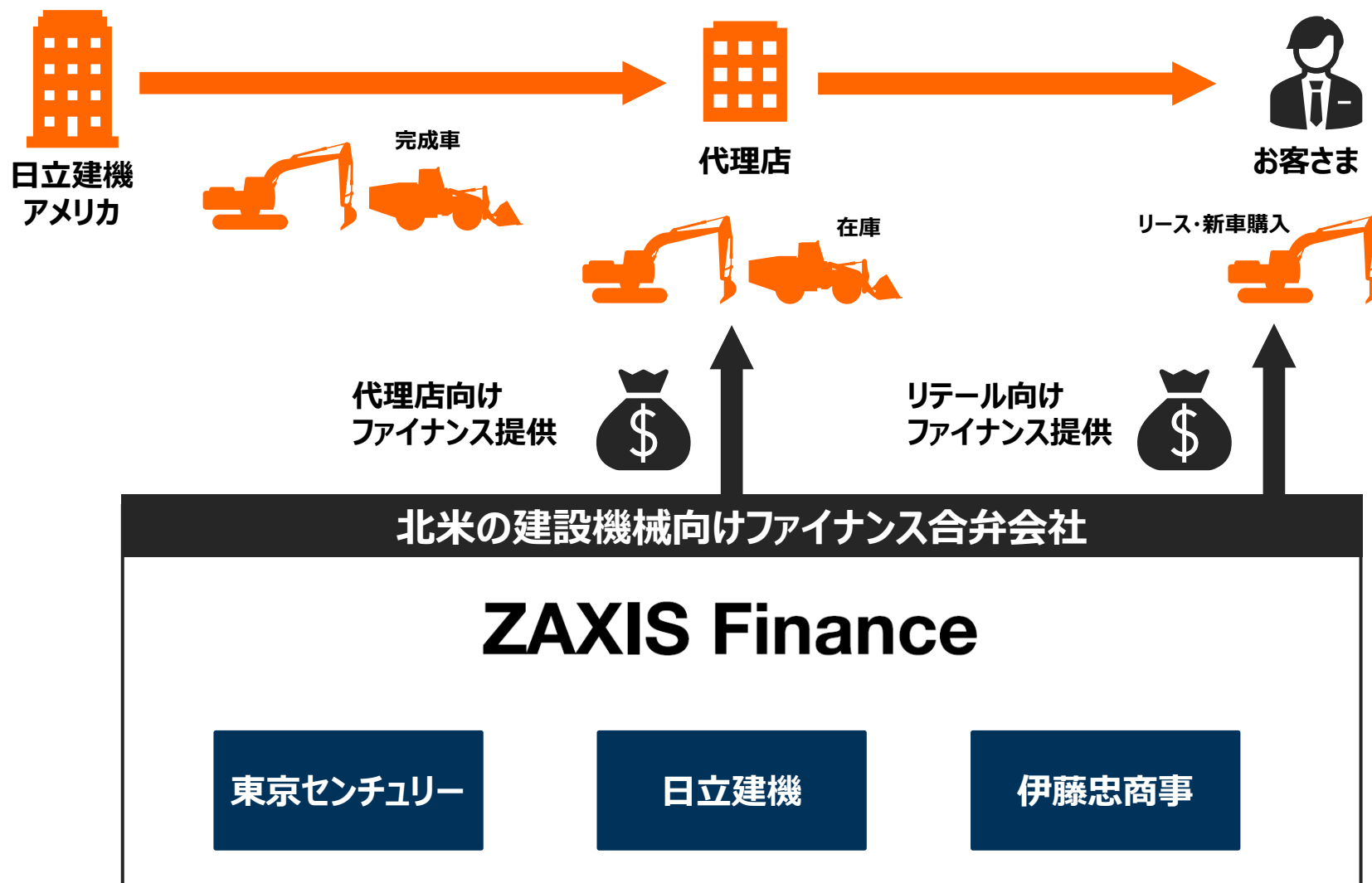


ブランド付きの中古車を域内に流通



レンタル・中古車を通じて日立ブランド機に触れる機会を創出

伊藤忠商事・東京センチュリー・日立建機の各米国法人とファイナンス合併会社を設立

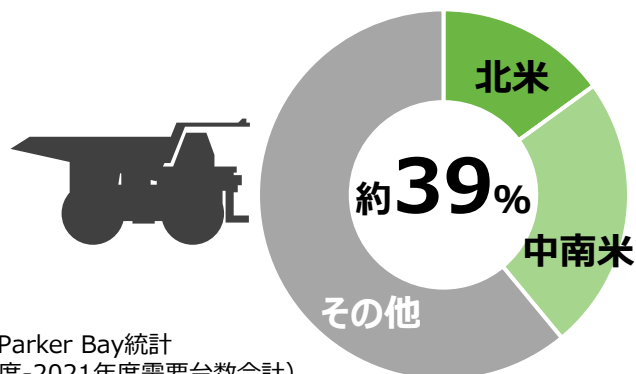


3. マイニング事業の取り組み

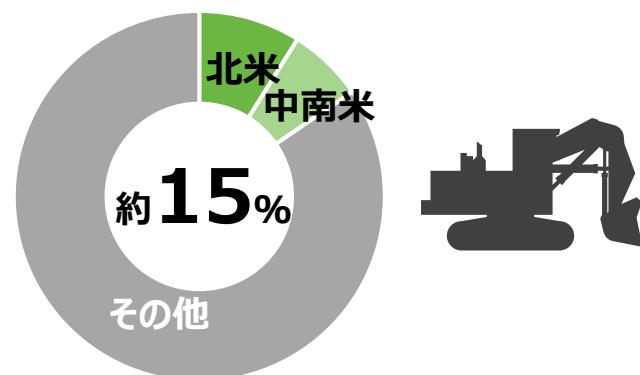
北中南米は世界需要のダンプ4割、超大型油圧ショベル2割を占める

鉱山機械の世界市場の北中南米比率*1

ダンプトラック（150t以上）



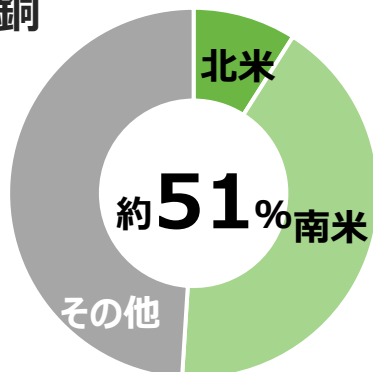
超大型油圧ショベル（100t以上）



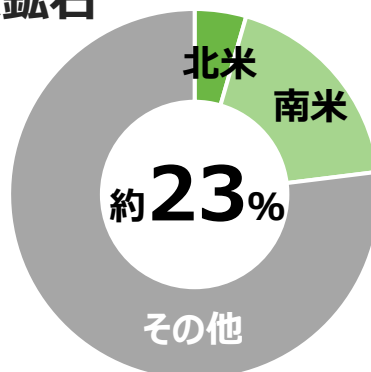
*1:WSS・Parker Bay統計
(2010年度-2021年度需要台数合計)

鉱種は銅、鉄鉱石、金などのハードロック中心*2

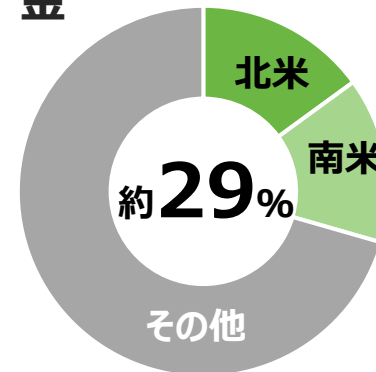
銅



鉄鉱石



金



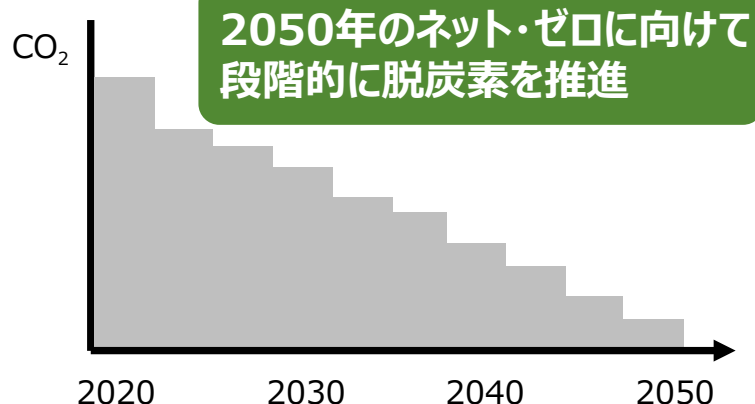
*2:Parker Bay統計をベースに当社算出

3-2. ゼロエミッションの声に応える技術的優位性

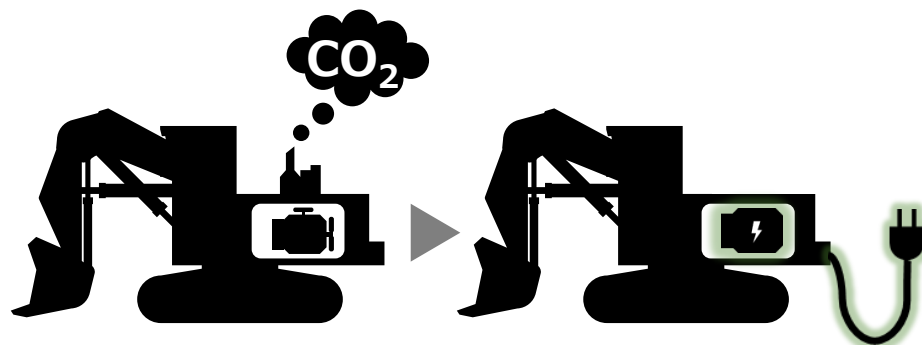
HITACHI

Reliable solutions

鉱山現場のCO₂排出量削減計画



有線電動式をフルラインアップで展開中



お客さまの保有資産を活用してフル電動化を実現

2004

エンジン発電

2008

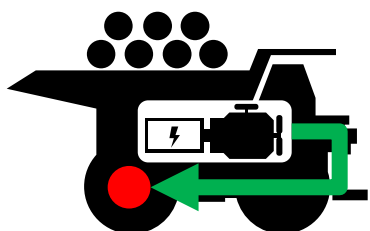
エンジン発電 + トロリー

2024

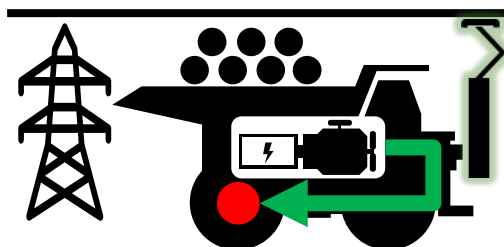
トロリー + バッテリー

2030

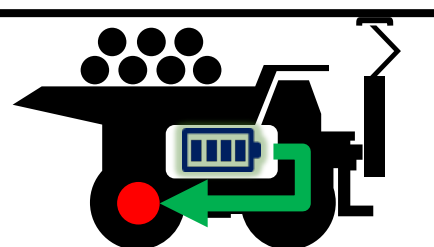
バッテリー(急速充電)



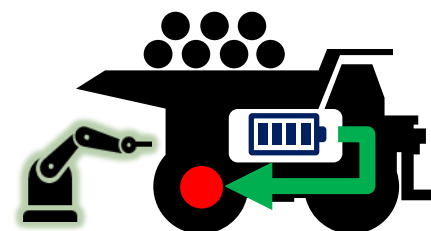
AC駆動式ダンプトラック



トロリー受電式ダンプトラック



トロリー式フル電動ダンプトラック



設置型の充電スタンド式

2023年度以降、日立建機アメリカが中心となり、
グループ会社のノウハウや設備を活用して再生事業を展開

日立建機アメリカ

米州全域の再生事業を統括

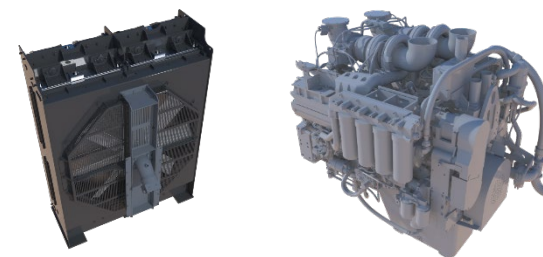
日立建機トラック

超大型油圧ショベル、
ダンプトラック向け部品の再生



H-E Parts

鉾山機械のクーリングシステムや
エンジンの再生



将来的に部品再生工場の立ち上げを検討

H-E Partsのエンジニア能力と拠点をフル活用して再生部品の普及を推進

コンポーネントの長寿命化や性能向上により、
お客さまの課題解決に貢献



大手鉱山会社40社の約8割に納入実績あり



再生部品のラインアップの拡充と、日立建機アメリカとの連携を開始



クーリングシステムの再生 (豪州)



エンジンの再生 (北米・豪州)



日立建機との連携 (ザンビア)

ブラッドケン社の鑄造部品を米州に供給、将来的には地産地消を検討

フェーズ1：バケット、GET、足回り



* Ground Engaging Tools(バケットに取り付けるツースやアダプタなどの耐摩耗材)

フェーズ2：ボディ（荷台）



ウェンコ社の鉱山運行管理システムで効率的な鉱山運営をサポート



3-6. サポート体制

HITACHI

Reliable solutions

日立建機グループが連携し、メーカーならではのフルサポート体制を構築



4. まとめ

1

米州事業の想定以上の立ち上がりと成長性

北中南米のバリューチェーン事業強化で安定成長を実現し、
2025年度に3,000億円以上（独自事業のみで約3,000億円）をめざします。

2

コンパクト・コンストラクション事業の取り組み

北米需要地の大部分をカバーする販売体制で、ConSiteを活用し、
部品・サービス、レンタル・中古車を含む最新のサービスソリューションを提供します。

3

マイニング事業への取り組み

北米に焦点を当てつつ中南米を重点地域とし、メーカーによる代理店フルサポート体制と、ゼロエミッションの声に応える技術的優位性を強みに市場開拓を推進します。グループ会社の知見・ノウハウを活用し、バリューチェーン事業を拡大します。

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

【商標注記】

「AERIAL ANGLE」「BRADKEN」「ConSite」「Wenco」「ZAXIS」は、日立建機株式会社もしくはグループ会社の登録商標です。

END

